

2014 年度 会社図書購入の件

図書を購入したので、読んで人間性の幅、視野、知識を広げて下さい。

代表取締役 石和田 雄二

横浜にあった古書店ネットワーク紫式部に資本参加してから 7,8 年経ちますが、幹部社員の視野を広げて貰う積りで、2 年単位に面白そうな本を、新刊を中心に新旧書籍をまとめ買いし、本社 8F 書架に置いて社員への貸し出しをしています。今回は 2 年半振りですが、紫式部経由で図書 200 冊を購入しました。

内容的には、「社員に読んで貰いたい図書 200 選 (12 年～14 年 9 月)」と題し、別紙資料を配布しますので、読みたい人は総務へ手続きをして借出して下さい。本の分類は以下の通りで、分類別に多少の多寡はありますが、平均 20 冊です。

1. ビジネス書<Ⅰ> (ベストセラー、現代社会論、事象解説、・・・)
2. ビジネス書<Ⅱ> (経済、政治、経営の解説書、事例研究・・・)
3. ビジネス書<Ⅲ> (イノベーション、新産業論、日本再生・・・)
4. ビジネス書<Ⅳ> (同時代の人物評伝、リーダー論、経営哲学・・・)
5. 時代を拓いた歴史的人物、著名人の伝記 ～ 自伝・評伝、回想録
6. 教養としての歴史、社会科学 ～ 歴史、歴史小説、人物・事変解説書
7. 教養としての理学、自然科学、 ～ 先端理工・医学、宇宙環境エネルギー
8. 教養としての文化、同時代雑学 ～ 小説随筆評論、人生論・自己啓発
9. ICT 及び ICT サービスに関する技術変化・市場動向・先端技術解説書
10. 当社の ICT サービスに関わる業務知識、市場変化及び技術動向解説書

本は、学生の頃から雑誌、文庫や新書中心に月 10 冊は購入、全集などは神保町で買い、大学図書館以外では図書館から本を借りることなどありませんでした。それが、トヨタの仕事で愛知県知立市に住んでいた 30 代後半の頃から、子供の本を借りたのがきっかけで本は図書館で借りるものとの習慣が身に付きました。今では本は殆ど買わず、経理や人間関係のハウツーものから小説伝記、歴史や内幕モノ、時に専門書まで近所の藤沢市民図書館から毎月何冊か借りています。図書館もネット化されており、探せばどんな本でもあるが、一般的に科学技術や IT サービス関連の硬い本は少なく、ビジネス書でも読みたい新刊は余りない。時代変化の速い現代は、IT サービスやビジネス書で特に必要なのはリアリティ、背景の同時代性や近未来を予想させる内容、先端技術の存在などが不可欠です。そんな訳で、新刊本中心に社員に役立つような図書を定期的に購入しています。

これからの社会人特に IT 技術者が遭遇する問題の理解や解決にある種のヒントを与えてくれそうな本が中心ですが、そのカテゴリーとして私が設定したのは、ビジネス、科学技術、ICT サービス、そして現代社会文化の 4 つの系列です。社会的問題や人間的問題も、問題は常に変化と変化への適応の中で起こります。社会変化の中で技術や制度がどう変わるべきか、その変化の中で人はどう生き、自分を変え、社会を変えて行くのか、企業や技術が社会的役割を担うのも、そうしたコンテキストの中でなのです。その意味で、今何が起きているのか、どう対処すべきなのか、過去の同じ様な状況下で、人はどう対応し、困難を克服してきたのか、人の構想力創造力と共に、今の科学技術や先端 ICT で何が出来、出来ないのか、技術者やリーダー、管理者、経営者は何を目標に、どんな努力をすべきなのか、こんな問いへの解決のヒントを与えてくれる本、人の生き方に触れて一步先に踏み出す勇気を我々に与えてくれる本、或は又、不安の先にある新たな展望を教えてくれる本、そんな本を選びました。どの系列でも人の生き方が基本、伝記的な本が多くなっているのはこの為です。

私が今、すぐにでも読みたい本を、ここで何冊か、挙げておきましょう。

戸塚 洋二	「がんと闘った科学者の記録」
高坂 正堯	「海洋国家日本の構想」
月泉 博	「ユニクロ 世界一をつかむ経営」
E.F.ヴォーゲル	「現代中国の父 鄧小平（上・下）」
王輝	「文化大革命の真実 天津大動乱」
赤崎 勇	「青い光に魅せられて」
ポール・アレン	「ぼくとドイツとマイクロソフト」
椎橋 章夫	「ペンギンが空を飛んだ日」

本は新聞と違って、テーマに関して体系があり、中身が濃い。一番良いのは一方通行な流れでなく対話的な所、考えて立ち止まれることです。斜め読みも飛ばし読みも出来、時には後の結論から入って読むことも出来ます。現実を超えた追体験により、論理と感情、頭と心を豊かにしてくれるのが読書、本に触れ、未知の人達と出会う習慣を、日常の生活の中で身に着けて下さい。感動に心を震わせ、時に怒りで興奮し、或いはしみじみと生きる喜びを感じる、そんな読書体験を通じて人間性の幅を広げ、又、時代を拓いた先駆者達に学び、仲間と共に仕事の現場を活性化、明日の当社を担うリーダーに成長して下さい。